

江戸優り佐原
文化芸術祭

～佐原まちぐるみ小劇場～

〒佐原商工会議所 ☎(54) 2244

■期間 11月8日(日)まで

■内容 展示・発表など53事業
与倉屋大土蔵

◇11月1日(日) 佐原囃子・手踊り・佐原高校合唱部など 13時30分～

◇11月3日(祝) 佐原高校演劇部 14時～

◇11月7日(土) ジャズ演奏会 14時～16時

◇11月8日(日) 東京芸術大学による演奏など 13時30分～16時30分

いなえ

◇11月1日(日) 合田社中町並み茶会 11時～15時

◇11月3日(祝) 千葉萌陽高校茶道部町並み茶会 10時30分～15時

小野川治い

◇11月7日(土)・8日(日) 佐原小中学校下座舟演奏 11時～15時(各2回)(雨天中止)

正文堂

◇11月3日(祝) 東京大学大学院地域デザイン研究室ワークショップ 10時～・15時30分～

◇11月8日(日) 青山学院大学マッピングパーティ

ボンネットバス運行

11月1日(日)・3日(祝)・7日(土)・8日(日) 10時30分・13時30分(定員…各20人、乗降場…馬場酒造駐車場)

◇申込 佐原商工会議所

香取市合併10周年記念

市のロゴマークが決定

企画政策課 ☎(50) 1206

市では、平成28年3月の合併10周年を記念して、市のさらなる飛躍につなげることを目的に、全国にPRするための情報発信ツールとなるロゴマークを決定しました。



作品コンセプト

香取市の「K」がモチーフ。ニッコリ笑った元気な市民の表情、水郷と緑に囲まれたまちに咲くアヤメのデザインで「潤いや安らぎのあるまち」を表現。

公募により全国から寄せられた199作品の中から市内に通う高校生による選考会、香取市合併10周年記念事業実行委員会での審査を経て立志哲洋さん(東京都)の作品に決定しました。このロゴマークは、今後市をPRする場面で積極的に活用されます。



食生活改善推進員のオススメ 大根の薄くず煮 寒くなる季節に温まる1品を

エネルギー 74kcal
塩分 1.0g



材料4人分

- 大根…………… 300g
- 人参…………… 100g
- 生椎茸…………… 60g
- 鶏ひき肉…………… 60g
- グリーンピース(冷凍)… 40g
- だし汁…………… 3カップ
- 塩…………… 小さじ2/3
- みりん…………… 小さじ2
- 生姜(すりおろす)… 少々
- 片栗粉…………… 小さじ2

【作り方】

- ①大根は2cm角に切る。人参、生椎茸は大根より小さめの角切りにする。
- ②鍋にだし汁を温め、①を入れる。
- ③煮立ったら火を弱め、5～6分煮て、塩とみりん、鶏ひき肉を加えほぐす。
- ④あくを取り、野菜がやわらかくなったらおろし生姜とグリーンピースを加え、水溶き片栗粉でとろみをつける。

佐原中学校

合唱部



心と歌声を束ねて

佐原中学校合唱部は個性豊かな26人のメンバーで活動しています。一人一人が妥協せず、技術の向上を目指して努力し、目下進化中!! 今年、関東コンクールや東日本大会に出場することもできました。これからも心と歌声を一つに束ねて佐中のハーモニーを育てていきたいです。



▲パート練習で丁寧に

ブカツー信

II

vol.21
中学校部活紹介



モットーは“素直な心・強い心”

私たち小見川中学校女子バレーボール部は2年生7人、1年生12人、計19人で、日々練習に励んでいます。成田空港大会では3位に入賞することができましたが、たくさんの課題も見つかりました。基本を大切にし、声をかけあい、明るく元気にプレーしていきたいです。



▲初陣!成田空港大会

小見川中学校

バレーボール部(女子)

広報かとり

平成27年(2015)11月1日号 No.231

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp

人口と世帯

10月1日現在(前月比)
計/80,199人 (-121)
男/39,752人 (-54)
女/40,447人 (-67)
世帯数/
30,479世帯 (-10)

異動して半年間、農業の盛んな香取市の広報担当として農業関連の取材をする機会が多くありました。そんな中、本紙のまちかど通信に掲載している「水の郷さわら大収穫祭」では、今まで取材を行った生産者の方たちが実りの秋を迎えた自慢の農産物をうれしそうに食べてもらう姿に再会。撮影をしていると7月15日号に掲載させていただいた香取孝禎さんから「広報に載ってからの問い合わせの電話が多くなったよ。今後はもっと道の駅にもシャインマスカットを卸せるようにしたいね」と声を掛けていただき、自分の担当した記事ではありませんが、少し誇らしく感じました。

編集後記